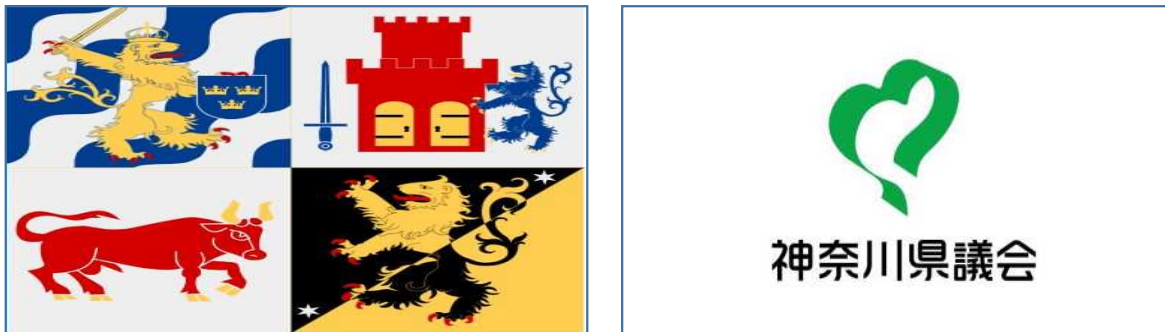


スウェーデン王国ヴェストラ・ジョータランド県
神奈川県議会友好代表団 派遣報告書

～ 友好交流30周年記念訪問等 ～



令和5年11月6日（月）～11日（土）

神奈川県議会

目 次

1	派遣概要	1
2	訪問日程	2
3	スウェーデン王国について	3
4	ヴェストラジョータランド県について	4
5	イエーテボリ市について	6
6	訪問概要	7
	(1) ヴェストラジョータランド県行政委員会歓迎セレモニー	8
	(2) ヴェストラジョータランド県行政委員会プレゼンテーション	10
	①スウェーデン行政について	10
	②ヴェストラジョータランドの環境に配慮した社会への移行について	12
	【 記念品交換で受領した品物① 】	15
	③気候適応について	16
	④民間防衛について	18
	(3) ヴェストラジョータランド県知事表敬訪問・昼食会	20
	(4) ボルボグループ視察	22
	(5) ボルボ博物館視察	24
	(6) 名誉総領事との議長主催夕食会	26
	(7) イェーテボリ市プレゼンテーション①	28
	イエーテボリ市の就学前教育について	
	(8) オーログスヴァーゲン子ども園視察	34
	(9) ヴェストラジョータランド県議会議長表敬・昼食会	38
	(10) ヴェストラジョータランド県議会プレゼンテーション	40
	ヴェストラジョータランド県のヘルスケア改革について	
	(11) オウグレンスカ国立難病センター視察	44
	(12) イェーテボリ市プレゼンテーション②	48
	高齢者に優しい都市づくり	
	(13) 高齢者向け公営住宅視察	48
	(14) チャルマース大学プレゼンテーション	52
	(15) イェーテボリ大学副学長との昼食会	56
	(16) シール社・ニクソンエナジー社プレゼンテーション	58
	エレクトロモビリティと水素エネルギーについて	
	(17) シール社・ニクソンエナジー社視察	58
	【 記念品交換で受領した品物① 】	62
	(参 考) プレゼンテーションで使用された PowerPoint のスライド	63
	説明資料 1 (スウェーデン行政について)	64
	説明資料 2 (ヴェストラジョータランドの環境に配慮した社会への移行について)	72
	説明資料 3 (気候適応について)	102
	説明資料 4 (民間防衛について)	112
	説明資料 5 (イエーテボリ市の就学前教育について)	123
	説明資料 6 (オーログスヴァーゲン子ども園)	156
	説明資料 7 (ヴェストラジョータランド県のヘルスケア改革について)	168
	説明資料 8 (高齢者に優しい都市づくり)	192
	説明資料 9 (エレクトロモビリティと水素エネルギーについて)	210

1 派遣概要

(1) 目的

スウェーデン王国 ヴェストラジョータランド県と本県との共同声明 30 周年を記念し、議会友好代表団を派遣することにより、両県の友好と信頼を深め、今後のより一層の交流の推進を図るとともに、同県内における先進施策等を調査する。

(2) 派遣先

スウェーデン王国 ヴェストラジョータランド県

(3) 代表団構成

団 長	神奈川県議会議長	加藤	元弥
団 員	神奈川県議会議員	河本	文雄
	神奈川県議会議員	杉本	透
	神奈川県議会議員	高橋	栄一郎
	神奈川県議会議員	栄居	学
	神奈川県議会議員	近藤	大輔
	神奈川県議会議員	赤野	たかし
	神奈川県議会議員	さとう	知一

随 員	議 会 局 長	浦邊	哲
	議会局議事課議事グループ		
	グループリーダー	樋口	健一

(4) 派遣期間

令和5年11月6日（月）から11日（土）までの6日間

2 訪問日程

日次	月日	時間	内容
1	11月6日(月)	9:55 16:30 21:05 22:00 23:00	羽田空港発(スカンジナビア航空 SK984便) コペンハーゲン空港着(所要時間 14時間35分) コペンハーゲン空港発(スカンジナビア航空 SK446便) ランドベッテル空港着(所要時間 55分) ホテル(EliteParkAvenueHotel)着 【イエーテボリ泊】
2	11月7日(火)	9:00 9:30~ 9:50 10:00~12:00 12:00~13:30 14:00~14:45 15:00~16:30 17:30~19:30 20:00	ホテル発 ■(1)ヴェストラジョータランド県行政委員会歓迎セレモニー ■(2)ヴェストラジョータランド県行政委員会でのプレゼンテーション ◆(3)ヴェストラジョータランド県知事表敬訪問・昼食会 ■(4)ボルボグループ視察 ■(5)ボルボ博物館視察 ◆(6)名誉総領事との議長主催夕食会 ホテル(EliteParkAvenueHotel)着 【イエーテボリ泊】
3	11月8日(水)	8:00 8:30~10:00 10:30~11:30 12:00~13:00 13:00~14:00 14:30~16:30 20:00	ホテル発 ■(7)イエーテボリ市プレゼンテーション① ■(8)オーログスヴァーゲン子ども園視察 ◆(9)ヴェストラジョータランド県議会議長表敬・昼食会 ■(10)ヴェストラジョータランド県議会プレゼンテーション ■(11)オウグレンスカ国立難病センター視察 ホテル(EliteParkAvenueHotel)着 【イエーテボリ泊】
4	11月9日(木)	8:00 8:30~9:30 9:45~10:30 11:00~11:50 12:00~13:00 13:30~14:00 14:00~14:45 15:00~15:30 16:30	ホテル発 ■(12)イエーテボリ市プレゼンテーション② ■(13)高齢者向け公営住宅視察 ■(14)チャルマース工科大学プレゼンテーション ◆(15)イエーテボリ大学副学長との昼食会 ■(16)シール社、ニルソンエナジー社プレゼンテーション ■(17)シール社試験施設視察 ■(18)ニルソンエナジー社視察 ホテル(EliteParkAvenueHotel)着 【イエーテボリ泊】
5	11月10日(金)	3:30 4:10 6:10 7:05 10:40	ホテル発 ランドベッテル空港着 ランドベッテル空港発(スカンジナビア航空 SK1439便) コペンハーゲン空港着(所要時間 55分) コペンハーゲン空港発(スカンジナビア航空 SK983便) 【機内泊】
6	11月11日(土)	7:55 8:30	羽田空港着(所要時間 13時間15分) 解散

■は公式行事、◆は公式の食事会

3 スウェーデン王国について

(1) 政 体

立憲君主制

(2) 元 首

カール 16 世グスタフ国王 (1973 年(昭和 48 年)9 月即位)

(3) 議 会

一院制 (349 議席 任期 4 年)。全て比例代表制により選出

(4) 政 府

国会の承認により首相を任命し、首相が内閣を構成 (日本の議院内閣制に相当)
 穏健党、キリスト教民主党及び自由党の 3 党連立政権 (2022 (R4) 年 10 月成立)
 首 相 ウルフ・クリステンション (穏健党党首)

(5) 地方体制

名称／区域	機関	所管事務
レーン (国の地方行機関の区域) 21 に区分 ※ 1	執行機関 ＝レーン府(委員会組織) (政府指名のレーン府長官と県議会で選出された者) 特徴：レーン府構成で中央と地方が協調	政府の決定事項の執行 交通安全、食品衛生の法令順守、自然環境保護、住宅政策など、
ランスティング (県に相当) 広域自治体 20 に区分	決定機関 ＝議会 ※ 2 (県の住民で選出された議員 ※ 3) 執行機関 ＝執行委員会 (議会が委員長及び委員を任命・選任。委員長は議員が原則) 特徴：議会優位で議会内閣制に類似	広域自治体事務の執行 一般医療、母子保健、歯科治療、医療専門職教育、農林業教育、成人教育、文化余暇活動支援、地域交通など
コミューン (市に相当) 基礎自治体 290 に区分	決定機関 ＝市議会 ※ 2 (市の住民で選出された議員 ※ 3) 執行機関 ＝執行委員会 (議会が委員長及び委員を任命・選任。委員長は議員が原則) 特徴：議会優位で議会内閣制に類似	市民自治の執行 学校教育、児童ケア、高齢者ケア、消防、救急、水道、下水道、廃棄物収集・処理、公園整備維持管理など

※ 1 日本では、国土交通省であれば関東地方建設局、中部地方建設局などが相当し、厚生労働省であれば、関東信越厚生局、東海北陸厚生局などが相当するが、所管区域は所管省により異なる。一方、スウェーデンの場合は、所管によっても区域が異なることはない。

※ 2 外国人であっても、3 年以上の滞在で市及び県の議員の選挙権がある。

※ 3 議員の任期は 4 年。議員は他の職業を兼務。無報酬が原則であるが、活動経費や会議出席経費等の支弁はある。なお、執行委員会委員長は常勤議員として報酬の支給がある。

4 ヴェストラジョータランド県について

ヴェストラジョータランド県は、スウェーデンの南西に位置し、県都のイエーテボリは、ストックホルムに次ぐスウェーデン第2の都市である。

ストックホルム、コペンハーゲン、オスロを結ぶ重要な位置を占めており、造船、海運、商工業が盛んである。

イエーテボリブーフス県と隣県2県が、1998(平成10)年1月1日に合併し、現在のヴェストラジョータランド県となった。

【神奈川県との交流のきっかけ】

1977(昭和52)年8月、長洲県知事が日ソ知事会議の帰路スウェーデンを訪問し、日本大使館において民際外交の趣旨を説明したところ、在スウェーデン大使が共鳴。エリック・フス イェーテボリブーフス県知事に対する仲介を得て、1978(昭和53)年9月、フス県知事が来県し、これが契機となり交流が始まった。

その後、スウェーデン王国の地方自治制度の仕組みの違いや同県の財政的事情などから、福祉・環境等専門分野の情報及び人的交流、情報公開などの行政面での情報交換などの分野を中心として、調査団や視察団の相互訪問等を行い交流が積み重ねられた。

これらの交流を経て、1993(平成5)年10月、イエーテボリブーフス県友好代表団(シエル・A・マッツソン県知事等)が来県し、両地域の友好交流の発展に関する共同声明に調印した。

1998(平成10)年1月、イエーテボリブーフス県は隣県2県と合併し、ヴェストラジョータランド県となったことに伴い、同年8月、神奈川県代表団(岡崎知事等)をヴェストラジョータランド県に派遣し、友好交流と協力に関する共同声明に調印した。

【ヴェストラジョータランド県の位置】



【ヴェストラジョータランド県の概要】

県庁所在地	イエーテボリ市（人口 約52万人）
人口	約173万人（2019（平成31）年現在）
面積	25,388平方キロメートル（神奈川県約10倍）
気候	高緯度にあるが、北大西洋海流の影響を受け温帯気候である。 （平均気温 夏18度、冬1度（イエーテボリ市）） 冬はそれほど寒くなく、雨もストックホルム地域より少ない。 年間降水量は、500～700ミリメートル程度で、季節による降水量の変動は少ない。
産業	ストックホルム、コペンハーゲン、オスロを結ぶ重要な位置を占め、造船、海運、商工業の発達が顕著である。また、以下の企業がイエーテボリに本社を置いている。 <ul style="list-style-type: none">・ ボルボ（自動車）・ エス・ケイ・エフ（SKF）社（ベアリング）・ ハッセルブラッド社（カメラ）
先進分野	<ul style="list-style-type: none">○ 福祉 子ども子育て、高齢者福祉、障害者福祉の各部門全般に充実している。○ 環境保護 環境問題に対する意識が高く、環境立法、技術面で諸外国からパイオニアと考えられている。 西スウェーデン（ヴェストラジョータランド県を中心とする南西部地域）には100を超える環境分野の企業や研究機関がある。○ 女性政策 「女性と職業と発展に関する地域情報センター」を開設し女性の社会進出に対するサポートを行うなど、男女共同参画社会の実現に向け積極的に取り組んでいる。

5 イェーテボリ市について (ヴェストラジョータランド県庁所在地)



イェーテボリ市はヴェストラジョータランド県に属するスウェーデンの港湾都市である。

人口は約52万人で、スウェーデンの中でストックホルムに次いで2番目に大きな都市であり、北欧でも5番目の大きさの都市である。ヴェストラジョータランド県の県庁所在地。

イェーテボリとは、「ゴート人の都市」を意味する。日本ではヨーテボリ、イイェーテボリと呼ばれることもある。

自然の地の利を活かしたスカンジナビアで最大の港湾施設を有し、主な産業も貿易と海運である。

イェーテボリの歴史は17世紀に遡る。

スウェーデンが北米に植民地を構えた時の拠点として、西との貿易と船舶輸送に国際的な門戸を開く港町として1621年に建設し、以来その港はイェーテボリを特徴づけてきた。

街はグスタブII世アドルフにより建設され、オランダの職人によって1600年代に建物が次々と作られた。過去にはオランダ語、ドイツ語、スウェーデン語、英語が公用語として使用された経歴がある。

18世紀の大航海時代においては、貿易の拠点として栄え、スウェーデン東インド会社（スウェーデン東インド会社）の本拠地となった。1731年に、スウェーデン東インド会社が東洋と貿易を始めた際、貿易先は中国にまで開かれ、陶磁器、紅茶、香辛料、衣類など、当時贅沢品だった品々は、イェーテボリを通して運ばれたものであった。当時英国の品物やライフスタイルが大流行となり、イェーテボリは「リトルロンドン」とまで呼ばれるようになった。

1800年代、イェーテボリは、主にスコットランドや英国からの移民ビジネスマンによって、産業化が促進された。年を重ね、多くのビジネスマンたちは財を築くことができるようになり、その資産によって病院、図書館、大学などが次々と建設された。こうして、道路も広くとられ、公園や石造りの家が立ち並ぶ近代のイェーテボリが世紀の変わり目を通して形成されていった。

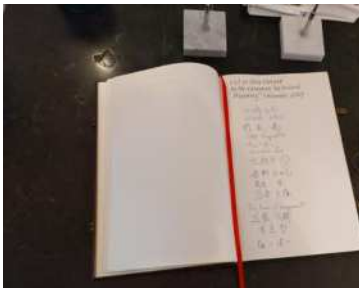
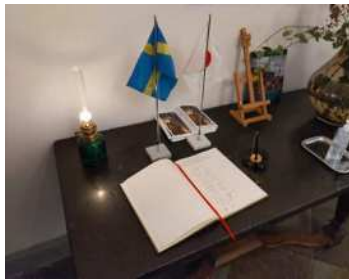
19世紀に、北欧全体にナショナリズム（汎スカンディナヴィア主義）が昂揚すると、イェーテボリは、北欧諸国の国家連合「スカンディナヴィア連合王国」の首都と目された。

1923年の国際展示会開催時にヨータ広場とリーセベリ遊園地などが建設された。

現在、工業も主要な産業になっており、SKF、ボルボ、エリクソンなどの会社が拠点を構えている。

6 訪問概要

(1) ヴェストラジョータランド県行政委員会歓迎セレモニー



(1) ヴェストラジョータランド県行政委員会歓迎セレモニー

日 時	令和5年11月7日(火) 9時30分~10時00分
場 所	ヴェストラジョータランド県知事公舎 応接室
応対者	ヴェストラジョータランド県行政委員会 管理局長官代理・調査官 (Utredare) ヘンリック・フリックマン (Henrik Frykman) 上級顧問 (Senior Adviser) オスカー・ヨハンソン (Oskar Johansson) メルシク・ハリチュニアン (Melsik harytjunjan) 外務省名誉総領事 (イエーテボリ) クラス・グリル (Claes Grill)

<ヘンリック・フリックマン 管理局長官代理 あいさつ要旨>

- 神奈川県議会の皆様の訪問を心から歓迎します。
- イェーテボリは、スウェーデンの中では比較的新しい街で、2021年に400周年を迎えたが、コロナの影響で記念行事を行うことができず、今年になってお祝いをした。
- この建物は1650年代に造られ、1660年に、当時のスウェーデン国王のカール2世がこの建物で亡くなったことで有名になりました。その後、1700年代以後に県知事の公邸になりました。現在、この建物は3つの機能を持っており、この上(4階)は知事公邸、下(1、2階)は公務の際の執務室として、使用しています。
- 1970年代に当時のヴェストラジョータランド県と神奈川県の交流が始まり、1993年に共同声明に署名し、正式に友好関係が確立しました。
今回、共同声明署名から30年目にあたり、神奈川県議会に訪問いただいたことを大変うれしく思っています。
- 2016年に、当時の鈴木副議長が来られた同じ年に、私たちも神奈川県を訪問しました。その時は、横浜港、日産の工場、省エネ住宅、水素ガスの自動車などを見学し、非常に有意義な訪問でした。
- 今回の神奈川県議会議長をはじめ県議会の皆様の訪問に感謝いたします。

<加藤元弥議長 あいさつ要旨>

- ヴェストラジョータランド県行政委員会の皆様にお目にかかれたことを大変うれしく思っています。
- ヴェストラジョータランド県との友好交流は、1978(昭和53)年9月、当時のイエーテボリブーフス県エリック・フス知事、イエーテボリ市ヤンソン市長の来県にはじまりますが、神奈川県議会として代表団を派遣したのは、2003(平成15)年に共同声明調印10周年を記念してのことでした。
- 今年は、それからちょうど20年目となる節目の年であり、両県の公式の友好30周年という特別な年でもあります。これまでの長きにわたって築いてきた交流の歴史を大切にし、この友好の絆をさらに確かなものとしていきたいという点で、皆様と想いを同じくしているところです。
- 神奈川県とヴェストラジョータランド県は、ともに国内第二の大きな県であり、貿易港や自動車産業など、共通点も多く、特に、高齢化のさなかにある本県としては、貴県の様々な実践について、友好交流の中で学ばせていただきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

<記念品交換>

加藤元弥議長からヘンリック・フリックマン氏及び応対者に対して、本県特産の横浜スカーフを贈呈し、ヘンリック・フリックマン氏からは、ガラス工芸の器が贈呈された。

(2) ヴェストラジョータランド県行政委員会プレゼンテーション

① スウェーデン行政について



(2) ヴェストラジョータランド県行政委員会プレゼンテーション

① スウェーデン行政について

日 時	令和5年11月7日(火) 10時~10時30分
場 所	ヴェストラジョータランド県庁 会議室
説明者	ヴェストラジョータランド県行政委員会 上級顧問 (Senior Adviser) オスカー・ヨハンソン (Oskar Johansson)

<オスカー・ヨハンソン 上級顧問 説明要旨>

→ 説明資料1 (P64) 参照

- スウェーデンは立憲君主制であり、国家元首である国王の権限は憲法で規律されている。
スウェーデンで権限があるのは立法権を有する国会であり、行政権は内閣に属する。首相は、国民の選挙で選ばれた議員で構成する国会で選ばれる。
- スウェーデンは、国、県(レーン・21ある)、市自治体(コミュン・290)の3つのレベルで構成されている。
- スウェーデンでは、4年に一度の国政選挙で、国会議員、県議会議員、市議会議員を同時に選んでいる。
- 県の議会(ランスティング)は審議権のみならず、行政の執行権を有しており、保健医療、公共交通を担っている。
- 県庁(県行政委員会(県の執行機関)。以下同じ。)は、国から依頼された仕事だけを県において執行している(国の政策を県で執行し、県の発展と成長につながる仕事をしている)。
県庁のトップである県知事は選挙ではなく、政府から任命される。
- スウェーデンには、約290の市(自治体)があり、そこでは、主として児童福祉、高齢者福祉、学校教育を行っている。
- スウェーデンでは、税金も国税、県税、市税の3つのレベルで徴収される。
- 県の制度ができたのは1634年で、現在、21の県がある。
県庁の役割は、国と市をリンクする(つなげる)ことにある。
- ヴェストラジョータランド県には49の市があり、県庁には1,100名程度の職員が勤務している。ストックホルムよりも大きいスウェーデン最大の県庁である。また、県内には8か所の支部がある。
- 県庁の役割は、国が進める政策・施策を県レベルで円滑に遂行していくことにある。また、県議会や市との連携を支援していくことも県庁の仕事である。
- 県庁では、いろいろな課題に取り組んでいるが、その一例としては、選挙、エネルギー、環境問題、農業、防衛問題、危機管理などが挙げられる。

(2) ヴェストラジョータランド県行政委員会プレゼンテーション
② ヴェストラジョータランドの環境に配慮した社会への移行について



(2) ヴェストラジョータランド県行政委員会プレゼンテーション

② ヴェストラジョータランドの環境に配慮した社会への移行について

日 時	令和5年11月7日(火) 10時30分~11時
場 所	ヴェストラジョータランド県庁 会議室
説明者	ヴェストラジョータランド県行政委員会 気候及び環境目標部門責任者 (Head of Climate and Environmental Objectives) ナルドノ・ニンプノ (Nardono Nimpuno)

ナルドノ・ニンプノ 気候及び環境目標部門責任者 説明要旨>

→ **説明資料2 (P72) 参照**

- 気候変動と国際競争に対応していくため、より持続可能で最適な価格で電力を供給していきたい。
- 県では化石資源からの移行を考えており、全産業が化石資源を使用しないようにしていく。そのために県は、莫大な投資をする必要がある。
- ヴェストラジョータランド県は元々、重工業の県である。スウェーデンの3分の1は産業界から排出されている。また、県全体で消費するエネルギーの40%が産業界に使われている。
- これを変えていくために、再生可能エネルギーにシフトし、化石資源から手を引きたいと考えている。
- 電気自動車が発達してきている。2025年には自家用車の13%を電気自動車に、ボルボ社は2030年には100%電気自動車化することを目指している。
- 西スウェーデンの電力発電量は年間18TWh/Y (テラ・ワット・アワー) であるが、全体の3分の1しか作れておらず、残りの3分の2は輸入している。
- 今後の電力需要の予測では、2045年には現在の3倍以上必要となるが、これはどこから生み出すのか。
まず、太陽光(200GWh)は、潜在的には1-8.6TWh。
風力発電は、今は陸上設置が多く(2.5TWh)、潜在的には2-10TWh。
水力発電は、これ以上は増えないと考えている。
- ヴェストラジョータランド県には原子力発電所は1つもないが、国は原子力による発電を増やすことを目標としている。
- 我々としてはoff shore=海の中の風力発電(洋上風力発電)が将来的に有望だと考えており、すでに6つのプロジェクトがある。このうち3つは認可プロセスに着手している。
- ヴェストラジョータランド県における産業の成長には電気を供給するグリッドが必要不可欠であり、インフラの整備も必要である。
このために県庁ではプラットフォームを作り、まずは市がエネルギー政策をつくれるようサポートしていく。また、県庁では、政府から電気を促進するためのアクションプランを作るよう委託されているところである。
- 過去、1760年から1840年にかけてイギリスで産業革命がおこり、蒸気機関、鉄道、蒸気船などの発明により社会全体が変革していった。
また、19世紀終わりから20世紀の初めに生まれた電気は、産業、農業そしてビジネスの必要条件を変えた。
当時は燃料から電気をつくり出すことを学んだが、今は、電気から燃料をつくり出すことを始めており、正に時代の変革期に生きていると言える。

<質疑応答>

質問 現時点で最も多くエネルギーを作り出しているのか何か。

答 国の方針では原子力を使いたいのが 2030 年までに原子力を増やしていくことは難しい。増えていくのは 2040 年以降になるだろう。土地に設置する風力発電は増えるとは思えない。水力発電も見込みがない。この県の特徴としては海の中の洋上風力発電が増えると思う。

質問 一番多く輸入しているのは何か。

答 水力発電を多く輸入している（国内輸入）また、3分の1はスウェーデンの各地にある原子力発電所でつくられたエネルギーを輸入している。本県では水力発電と風力発電は行っている。

質問 日照時間があまりないので、太陽光発電はないのか。

答 日照時間は問題ない、太陽光発電に将来性はあると思うが、土地の有効活用という点（食料をつくるか、エネルギーをつくるか）では微妙なところである。

質問 神奈川県では個人の自宅に太陽光パネルを付けたり、工場の屋根などを貸して投資することを行っているが、そういうことは行わないのか。

答 同じことはスウェーデンでも見られ、国が個人や工場へ助成金を出しているが、率は陸上の風力発電のほうが多い。太陽光はギガワット程度、風力発電はテラワットとかなり違う。

質問 神奈川にも洋上発電が1つだけあるが、コストがかかる。国のサポート体制はどうなっているのか。

答 本県の方針は、風力発電を設置する際、周辺の住民にメリットがないといけないので、それを理解してもらうこと、洋上の風力発電について、国からのサポートはない、サポートするのは業界や外国からの投資会社である。

質問 日本でも洋上の風力発電については実証実験を行っており、国策となっているので、スウェーデンの状況は意外である。

答 スウェーデンでは実際に市場を動かしていくのは業界であり、県は国の方針に基づいて折衝などを行っているが、業界が力を持っている。

質問 日本では、陸上の風力発電は騒音等の課題があり、洋上の風力発電は設置及びランニングコストの面で採算が取れないという課題があると言われている。スウェーデンでは洋上の風力発電に力を入れているとのことだが、どうなのか。

答 スウェーデンでも陸上の風力発電については騒音等の課題があり、洋上の風力発電に力を入れているところである。スウェーデンでは電力価格が日本よりもかなり高いこともあり、洋上の風力発電で採算が合わないということはない。

記念品交換で受領した品物 ①

【ヴェストラジョータランド県知事】

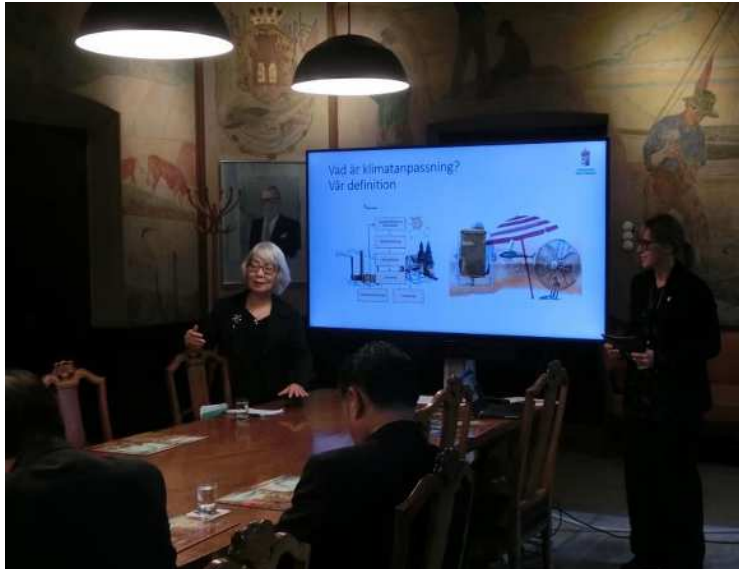


【ヴェストラジョータランド県行政委員会】



(2) ヴェストラジョータランド県行政委員会プレゼンテーション

③ 気候適応について



(2) ヴェストラジョータランド県行政委員会プレゼンテーション

③ 気候適応について

日 時	令和5年11月7日(火) 11時~11時30分
場 所	ヴェストラジョータランド県庁 会議室
説明者	ヴェストラジョータランド県行政委員会 社会問題局 地域社会保護及び対策部門 アナ・ゲオルギエワ・ラーゲル (Anna Georgieva Lagell)

<アンナ・ゲオルギエワ・ラーゲル 説明要旨>

→ 説明資料3 (P102) 参照

- ゲリラ豪雨、洪水、土砂崩れ、山火事などの自然災害や、温暖化などの異常気象など、気候の変化が生じており、生物の生態系、植物や農作物への影響、また、国境を越えた病気の蔓延や国と国との交通遮断などの危険性も高まっている。
- こうした気候や環境変化に係る対応について、
 - ・ 国では気象庁などにおいて、国全体の気候適応戦略を定め、
 - ・ 県（県庁）では、国の定めた戦略を地域レベルで実行することと、市（地域）との橋渡しを行っており、
 - ・ 市（地域）では、市が所有する建物や民間の建物等の気候適応対策を行うなどの役割が定められている。
- 県（県庁）が国から委託されていることは、気候や環境の変化に対する県レベルでの対応（適応）策を講じることである。
具体的には、県（県庁）では、
 - ・ 専門知識に基づく気候変化についての解析と市（市役所）への情報提供
 - ・ 市（市役所）が行う気候適応対策に関する指導、監査
 - ・ ウェブサイトを使つての情報提供を行っている。
- また、県（県庁）には、
 - ・ 気候適応について総合的に統括する者
 - ・ 気候適応について担当するグループ
 - ・ 県（県庁）内の各部門における気候（環境）適応の担当者がいて、計画を策定する時をはじめ、文化活動、男女平等など県（県庁）のあらゆる分野において、気候（環境）適応に着目するように指導している。
- 県（県庁）では、気候（環境）適応の取組を進めていくにあたり、
 - ・ （住環境を豊かにするなど）魅力のある取組であること
 - ・ （人間だけでなく、そこに棲む動物などを含めた）持続可能性があること
 - ・ 自然災害や危機に対応・回復できる強固で幅広いシステム（仕組）を作ること
 - ・ 市民の意識や民間での備えが大切であることが重要であると考えている。

質問 国や地球規模を意識した取組は、何か行っているのか。

答 県の仕事は、市のニーズを国へ伝えることである。

例えば、土砂くずれが発生した場合、国に助成金を出してもらい、土砂崩れ防止の工事を行うということが市の役割であり、県はその橋渡しをしたり、市に対し指導や法律などの情報提供などを行うことであり、国やグローバルな視点での取組は行わない。

(2) ヴェストラジョータランド県行政委員会プレゼンテーション
④ 民間防衛について



(2) ヴェストラジョータランド県行政委員会プレゼンテーション

④ 民間防衛について

日 時	令和5年11月7日(火) 11時30分~12時
場 所	ヴェストラジョータランド県庁 会議室
説明者	ヴェストラジョータランド県行政委員会 社会防衛及び準備部門リーダー フィリッパ・アルムランド (Filippa Almlund)

<フィリッパ・アルムランド 説明要旨>

→ 説明資料4 (P112) 参照

- 市民の準備と、軍隊が武器を持って対応することを総体的に防衛と呼ぶ。スウェーデンでは様々な法律があるが、発動を決めるのは政府である。
- 国防はスウェーデンの軍隊で組織されるが、民間防衛は、一般家庭、民間企業、行政機関(290市、21の県)などを指す。
- 2018年に、危機や戦争が起こった場合の対応を示したパンフレット(If crisis or war comes)が国内の各家庭に配布された。その中には、各家庭で1週間分の水、救命器具などを準備することなどが示されている。
- 2022年10月1日に新たな法令が発令され、スウェーデンの343ある行政機関のうち60機関に、民間防衛の準備のための責任を担うことが指定された。具体的には、21の県庁と39の役所(行政機関)である。
- さらに、このうち10の機関に、部門毎の責任を担うことが指定された。その10の部門とは、経済的安全性、電子によるコミュニケーションと郵便サービス、エネルギー供給、金融サービス、基本的なデータの提供(税務署などからの情報を提供できること)、健康・保健医療・福祉、食料と飲料水の提供、市民を守る救命サービス、運送、公共の秩序と安全性である。各部門の内容を国、県、市のレベルでどうするのか、活発に議論されている。
- 21県庁のうち6つには、民間防衛の計画に係る特定の任務が指定されている。
- 自然災害の時の活動や環境対策なども行っている。県が行うのは、市、関係団体をサポートすることであり、県内で何か災害が発生した場合、関係者を集め、協力できるようコーディネートしている。

<質疑応答>

質問 学校教育では、子どもたちにどういった対応をしているのか

答 県庁は、学校教育は所管外(市の役割)だが、16歳を対象に危機や戦争が起こった場合にするかというパンフレットを配布している。また、防衛庁などが説明会を開いている。

質問 スウェーデンには徴兵制はあるのか

答 現在、国民皆兵性はなくなったが、軍隊を増やそうという流れがある。

質問 国、県、市が連携した災害プロジェクトはあるのか

答 災害対応は一義的には市が担い、県はそれを指導する立場である。また、避難訓練は民間施設も含めていろいろ行われており、県はそれらに対する指導を行っている。

質問 日本では自然災害に対する準備はあるが、軍事災害に対してはほとんどない。パンフレットを県民に配布したときのリアクションはどうだったのか、

答 2018年に配布した時は、戦争の経験がない若い世代は驚いたようだが、その後、コロナのパンデミックで考え方が変わり細菌などに関する怖さが出てきた。また、ロシアのウクライナ侵攻やスウェーデンのNATO加入などで、武器により攻撃されることへの危機感が出てきている。

(3) ヴェストラジョータランド県知事表敬訪問・昼食会



(3) ヴェストラジョータランド県知事表敬訪問・昼食会

日 時	令和5年11月7日(火) 12時~13時30分
場 所	ヴェストラジョータランド県知事公邸 応接室
応対者	ヴェストラジョータランド県知事 ステン・トルグフォルス (Sten Tolgfors) ヴェストラジョータランド県行政委員会 管理局長官代理・調査官 (Utredare) ヘンリック・フリックマン (Henrik Frykman) 上級顧問 (Senior Adviser) オスカー・ヨハンソン (Oskar Johansson) メルシク・ハリチュンジャン (Melsik harytjunjan) 外務省名誉総領事 (イエーテボリ) クラス・グリル (Claes Grill)

<ステン・トルグフォルス知事 あいさつ(要旨)>

県知事公邸によくいらっしゃいました。

みなさんがいるこの建物はイエーテボリで最も古い建物で、1648年に完成しました。知事は1700年代からここに居住してきました。

イエーテボリは、アジアやヨーロッパとの貿易を進めるために生まれた街です。イエーテボリ港には400メートルある大型のコンテナ船も寄港します。

イエーテボリには自動車産業、化学産業、石油精製所がありますが、そのすべての業界が、今、化石資源から離れようとしています。これらに代わるものとして、電気や水素ガスを使っていきたいと考えています。

そして、これにより我々は強力な経済的成長、発展、人口増加を目指していきたいと思っています。

神奈川県とは、友好関係がスタートしてから30年が経ちます。

日本は我々と同じように、ロシアを隣国としており、そうした面からも、この友好関係は非常に有意義であると思っています。

<加藤元弥議長 あいさつ(要旨)>

ステン・トルグフォルス知事にお目にかかれたことを大変うれしく思います。

ヴェストラジョータランド県との友好交流は、1978(昭和53)年9月に当時のイエーテボリブーフス県エリック・フス知事、イエーテボリ市ヤンソン市長が来県されたことに始まりますが、神奈川県議会として代表団を派遣したのは、2003(平成15)年に共同声明調印10周年を記念してのことでした。

今年は、それからちょうど20年目となる節目の年であり、両県の公式の友好30周年という特別な年でもあります。これまでの長きにわたって築いてきた交流の歴史を大切に、この友好の絆をさらに確かなものとしていきたいという点で、思いを同じくしているところです。

神奈川県とヴェストラジョータランド県は、ともに国内第二の大きな県であり、貿易港や自動車産業など共通点も多く、特に、高齢化の最中にある本県としては、貴県の様々な実践について、今回の友好交流の中で学ばせていただきたいと考えていますので、どうぞよろしく願いいたします。

<神奈川県知事信書の手交>

加藤元弥議長から、ステン・トルグフォルス知事に、黒岩祐治神奈川県知事から預かってきた親書を手渡した。

<記念品の交換>

最後に、加藤議長からステン・トルグフォルス知事に対し、記念品として本県特産の箱根細工(木象嵌:雲海)を贈呈し、ステン・トルグフォルス知事から、陶器製の絵画が贈呈された。

(4) ボルボグループ (Volvo Group) 視察 トラック組立・製造工場視察

<視察先情報>

出典・参考:フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』(2024/01/26 14:58 UTC 版)

- スウェーデンのイエーテボリに本拠を置く多国籍企業。
- 事業範囲:自動車、トラック、バス、建設機械、船舶及び産業用エンジン等
- 産学連携:チャルマース工科大学と共同研究を実施。
2014年から上智大学と産学教育連携を実施。
- 1999年に乗用車事業を「ボルボ・カーズ」としてフォード・モーターに売却した後、他国の商用車メーカーの買収によるトラックやバスといった商用車に特化した世界戦略をとっている。
- 「ボルボ・カーズ」は2010年にフォードから中国の浙江吉利控股集团傘下に移動し、引き続き「ボルボ」ブランドを保持している。また、浙江吉利控股集团は2018年にボルボグループの筆頭株主となっている。
- 「ボルボ・カーズ」は、2030年までに乗用車の完全な電気自動車メーカーになることを計画しており、ハイブリッド車を含む内燃機関を搭載した車を全世界で段階的に廃止することを目指している。
- トラック部門については、日本国内では、2010年に日産ディーゼル工業と合併し、UDトラックス(初代)に社名を変更し、さらに2014年にUDトラックスジャパン、ボルボグループジャパンと合併し、現在はUDトラックス(2代)となった。
- その後、2020年に主要株主であるボルボグループといすゞ自動車間で戦略的提携が正式に締結され、これに伴い、いすゞ自動車がボルボからUDトラックスを2,430億円で購入し、UDトラックスはいすゞグループ企業となっている。

※ 敷地内は撮影不可のため写真なし



(4) ボルボグループ (Volvo Group) 視察

日時	令和5年11月7日(火) 14時~14時45分
場所	ボルボグループ トラック組立・製造工場
対応者	ボルボグループ トラック戦略ディレクター マッツ・アーリン (Mats Ahlin) 連携オフィスディレクター 森 みず江

<トラックの生産工場の視察>

- ボルボグループでは、「安全」、「品質」、「環境」3つを基本理念としている。
- この工場は、1978年に造られた「チューベイ工場」で、当初は倉庫として使い、組立工場として操業を開始したのは1982年である。
- 創業当初は、1日当たり12台のトラックを製造していたが、今は、1日140台製造している。
- この工場では、FH(トレーラー型)、FMX(トラック型)といった様々なタイプのトラックを組み立てている。電動トラックも生産している。
- 工場の従業員は、2800人で、ホワイトカラーは300人のみで、残りはブルーワーカー(作業員)であり、女性の割合は30.5%である。
- 全体的に若い従業員が多い印象を受けた。
地元ガイドによると、ボルボに就職することは一つのステータスであるとのこと。スウェーデンでは自動車が必要であり、大きな企業になると、社員に会社から車が貸与されるとのこと。
- 全て受注生産であり、見込み生産はしていない。
- 工場での生産方式は、トヨタの生産方式を多く採り入れている。
- どのトラックも、それぞれ仕様が異なっており、そのすべてを同じラインで組み立てている。1台ごとの仕様を示した工程ごとの指示書を基に作業が行われている。品質管理のため、作業後は、それぞれの工程を受け持つ者がサインをすることとなっている。
- 一つの工程の作業時間は、すべて7分で設定している。工程ごとに業務量に違いがあるが、各工程に配分する人数で調整を行い、全工程が同じ7分で完了できるようにしている。
- トラブルが発生した際は、ボタンを押すと音楽が流れて行燈型の色違いのランプが光り、生産ラインが止まる。ランプを見れば、どこでトラブルが起こっているのか分かる「行燈(あんどん)方式」を採用している。

<質疑応答>

- 質問** ボルボは、乗用車については2030年までにすべて電気自動車化するとしているが、トラックについては完全自動車化するとまでは言っていないが、なぜか。
- 答** トラックは、ヨーロッパなどは国境を越えて長距離を走行することとなるため、持続可能走行距離や給電設備などのインフラの整備状況などから、完全電気自動車化の判断には至っていない。当面、様子見というところである。

(5) ボルボ博物館視察



<視察先情報>

- 1995年に開館。2024年には、別の場所に移転しリニューアルされる予定である。
- 1927年から乗用車の製造を開始したボルボの歴史、世界に先駆けた自動車安全装備のコンセプトカー、最先端のイノベーションをたどる展示をしている。
- 初めて製造されたボルボ・ÖV 4から現在の乗用車、トラック、バス、重機などの車両のほか、ボルボ・エアロが生産したターボファンエンジン、ボルボ・ペンタの船舶用エンジンなどの製品も展示もされている。
- 創始者であるアッサール・ガブリエルソンとグスタフ・ラーソンの銅像及び創業に至る経緯などについても紹介されている。
- ボルボの安全性に関する取組や環境への配慮についても紹介されている。

(5) ボルボ博物館視察

日 時	令和5年11月7日(火) 15時~16時30分
場 所	ボルボ博物館
説明者	ボルボ博物館 シェレン・ニエボエ 館長
同行者	ボルボグループ トラック戦略ディレクター マッツ・アーリン (Mats Ahlin) 連携オフィスディレクター 森 みず江

<ボルボ博物館 シェレン・ニエボエ館長 説明要旨>

- ボルボのルーツは、SKF ベアリング（以下「SKF」という。）である。
SKF は 1907 年に誕生し、1915 年までの間に会社は大きくなり、1915 年にはアメリカ合衆国への輸出が始まった。その当時、SKF という名前で輸出をしたくなく、「ボルボ」という名前を付けたのが始まりである。
「ボルボ」とは、ラテン語で「回転する、動く」という意味である。
1915年に第一次世界大戦が勃発し、1917年にはアメリカ合衆国が参戦したため、非参戦国であったスウェーデンからアメリカへの輸出はストップしたが、「ボルボ」という名前は残しておいた。
- 1920年代の初め、SKF の社員であるアッサール・ガブリエソンとグスタフ・ラーソンの2人が、自動車メーカーとしての「ボルボ」の創始者となった。
当初、2人はスウェーデンに適した車をつくりたいというビジョンがあったが、現実化はしなかった。
その後、グスタフ・ラーソンはSKFを辞めてストックホルムへ移り、アッサール・ガブリエルはSKFに残った。2人はお互い連絡を取っていなかったが、1924年にストックホルムのレストランで偶然出会い、自動車を作る話で盛り上がった。
- 資金が無かった二人は、SKF に資金の提供を頼むことにしたが、SKF には自動車製造についてなかなか理解してもらえず、8回の説明でようやく上層部を説得することができた。
- そこで、10台のプロトタイプを、当時の20,000スウェーデンクローナで造ることになったが、それは1925年当時では相当の大金であった。
こうして、初号車がストックホルムで10台造られた。
- ボルボのマークは「品質」の象徴である。
スウェーデンは良質な鉄鋼の生産で高い評価を得ており、スウェーデンの雪道や路面凍結などの状況においても、運転者や同乗者の安全を確保するために、丈夫な鉄鋼を使用した乗用車の生産をモットーとした。
「ボルボ」=安全というブランドイメージは、ここから始まったものである。

<質疑応答>

質問 ボルボは2030年までに乗用車の完全電気自動車化をいち早く打ち出したが、その背景にはどのような要因があるのか。

答 ボルボは、ヨーロッパでは日本やドイツの自動車に較べると人気がない。

そこで、EUが打ち出した「欧州グリーンディール(温室効果ガスの排出を2050年までに実質ゼロにする気候中立を実現する取組)」にいち早く反応し、自動車市場における優位性を確保したいという所にあると思う。

それには、スウェーデン政府の政策（電気自動車の購入や設備投資などへの補助金等）が強力な後押しになっている。

(6) 名誉総領事との議長主催夕食会



(6) 名誉総領事との議長主催夕食会

日 時	令和5年11月7日(火) 17時30分~19時30分
場 所	F i s k e k r o g e n
出席者	外務省名誉総領事(イエーテボリ) クラス・グリル(Claes Grill) ヴェストラジョータランド県行政委員会 上級顧問(Senior Adviser) オスカー・ヨハンソン(Oskar Johansson) メルシク・ハリチュンジャン(Melsik harytjunjan)

<加藤 元弥 議長 あいさつ要旨>

- クラス・グリル名誉総領事、オスカー・ヨハンソンさん、メリシク・ハリチュンジャンさん、本日は、大変お忙しい中、私どもの視察にご同行いただき、厚くお礼申し上げます。
- 両県の友好30周年という節目の年に、ヴェストラジョータランド県を訪問することができ、とてもうれしく思っています。
- ヴェストラジョータランド県と神奈川県、県同士はとても離れてはいますが、30年前から続く友好の絆は全く色あせておらず、むしろお互いを思いやる気持ちは今なお輝き続けています。
- 今後とも、皆様方とも手を携えて、スウェーデンと日本との交流の進展に努力していく所存ですので、よろしくお願いします。
- 視察は明日と明後日の3日間と大変短い期間ではありますが、ヴェストラジョータランド県で多くのことをしっかり学んでいく所存です。
- 本日は、短い時間ではありますが、親交を深めてまいりたいと思います。

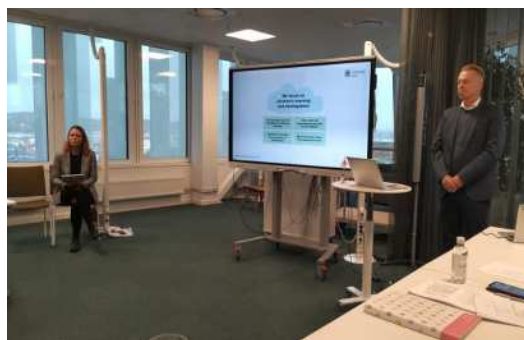
<クラス・グリル 名誉総領事 あいさつ要旨>

- 本日、県視察団の皆さんと同行して、皆さんがとても興味深く説明を聞き、質問をされている姿にとても感心しました。
- 今回、神奈川県議会の皆さんがスウェーデンのイエーテボリを訪問いただいたことは、今まで続けてきた両県の友好関係が一層深まるものであると確信しています。
- 明日、明後日も大変興味深いテーマでの視察が予定されています。今回の視察が実り多いものとなるようになるよう願っています。

<記念品の贈呈>

最後に、加藤元弥議長からクラス・グリル名誉総領事に対し、記念品として本県特産の箱根細工(木象嵌:赤椿)を贈呈した。

(7) イェーテボリ市プレゼンテーション①
イェーテボリ市の就学前教育について



(7) イェーテボリ市プレゼンテーション①
イェーテボリ市の就学前教育について

日 時	令和5年11月8日(水) 8時30分~10時
場 所	イェーテボリ市幼稚園(子ども園) 運営管理部門 会議室
説明者	イェーテボリ市 子ども園委員会委員長 イングリッド・アンドレー (Ingrid Andreae) 子ども園運営管理部門 責任者 ヨハン・オロフソン (Johan Olofsson) 開発マネージャー ベアタ・モディ (Beata Modigh) リサ・スクルド (Lisa Skold) マリン・オムランド (Malin Omland) ニーナ・エークセン (Nina Akesson)

→ 説明資料5 (P123) 参照

ア イェーテボリ市の子ども園の運営組織とその状況

<イングリッド・アンドレー 市議会子ども園委員会委員長 あいさつ要旨>

- 私たち委員会は、8つの政党からなる議会を代表し、市議会を代表している。
- 私たちの仕事は、実際に現場に出て仕事をするのではなく、市が決めた到達目標が守られているか、予算の中で運営されているかということ監視・監督することである。
- 委員会は毎月1回開催している。
- 以下、具体的な内容について、それぞれの職員から説明する。

<ヨハン・オロフソン 子ども園運営管理部門責任者 説明要旨>

- 私は、イェーテボリ市にある全ての子ども園の運営管理に係る最高責任者を務めている。
- 我々の部門の職務内容は、イェーテボリ市の子ども園が、決められた方針・目標や予算に従って運営されているか、監視・監督することにある。
- 我々の目標は、「子どもたちの学びと発達に中心を置く」ということにある。子ども園では、生涯を通じての学びの基礎を作ること、安心して良い用具で学ぶことができることなどに取り組んでいる。
- イェーテボリ市には、約 25,000 人子どもたちが、子ども園の教育を受けている。
- 市内には、350 の様々なタイプの子ども園があり、小規模では 20~30 人、大規模になると 300 人程度いる園もある。
- 子ども園に勤務する人は 9,000 人程度いて、殆どの人は幼稚園教育(大学で 3~4 年)又は子どもの保育に関する専門教育(1~2 年)を受けている。その他に、運営を担う事務職員等がいる。
- 市内には 240 人の管理者がいて、そのうち 170 人は園長の資格を持つ。
- 園長は、一人で 2~3 の子ども園の園長を務めている。園長の下には 30 人程度の職員がいる。
- イェーテボリ市には、公共のほかにも民間の子ども園もあり、これらには行政部門が直接は関与していないが、国の方針に従って運営されているが監督する権限を有している。
- 民間の子ども園には 5,000 人程度の子どものいる。
- スウェーデンでの就学前教育は長い歴史があり、当初は仕事をしている父母の子どもの受け皿として設立されたが、50~60 年前から子どもたちが学習する場として意識され、25 年前に子ども園の教育カリキュラムが確立された。

- 現在は、子ども園は子どもの世話・養護をする場であるとともに教育していく場であるという2本の柱の上に運営されている。
- 子ども園の財政は、殆どがイエーテボリ市の税金で賄われている。保護者からも利用料を徴収するが僅かである。
- 1週間に15時間までは、誰でも無料で子ども園での保育を受けられる。
- イエーテボリ市には21カ所の「オープン子ども園」もある。
この「オープン子ども園」は、親や家族をサポートすることが目的であり、利用する家族は、好きな時に子どもと一緒に利用・活動できるという特色がある。
スウェーデンでは、子ども園を自由に選べるようになっており、「オープン子ども園」は、子どもや保護者が子ども園に慣れ、子ども園に移行していく過程の一つとしても機能している。
- スウェーデンでは、子ども園や「オープン子ども園」をはじめ、予防接種会場や児童福祉施設など、子どもに関係する施設が同一の建物内にあることが多い。これは、子どもだけではなく、家族全体を支えていくという発想から来ているものである。
- 子ども園を運営管理していく上で重視していることが3つある。
一つ目は、全体の品質を向上させることであり、そのために教育のカリキュラムが定められているが、もっとこの分野を伸ばしていく必要がある。そのために、科学的な根拠により進めていくことがとても重要である。
二つ目には、優秀な能力のある職員を育てていくことである。一時期は労働者不足で子ども園で働く人を確保することが難しい時代があった。社会で重要な役割を有する子ども園の人材を確保していくことが大切である。
三つ目は、子ども園で優れた環境の下で子どもたちが活動できるようサポートしていくことである。今後10年で約100の子ども園を新しくしていく必要があると考えている。そのために、必要な土地の確保と財政措置が重要な課題となっている。

イ スウェーデンの就学前教育制度について

<ベアタ・モディ 企画開発マネージャー 説明要旨>

- スウェーデンでの教育は法律に基づき行われており、学校法の中に「子ども園」についての項目があり、子ども園での教育の指針が定められている。
また、子ども園の組織についても定められている。
- 学校法以外にも、子ども園でのカリキュラムについて国が定めている。公立・私立の区別なく、子ども園はこのカリキュラムに沿って運営されなければならない。
- カリキュラムは、「責務とその評価（ノルマ）に関するもの」と「33の目標と51の指針」の2つの要素で構成されている。
- スウェーデンでは子どもの能力を成績で測ることはしないで、それぞれの子どもが33の目標と51の指針においてどのように成長したかを示すことにしている。
- カリキュラムの中で重要なものをいくつか挙げると、次のものがある。
 - ・ 子どもたちが（社会に）参画して自分の意見を言えるようにすること
 - ・ 遊びの中で成長し学んでいくこと
 - ・ 保育園における学習環境と保育の運営組織
 - ・ 適切なデジタルスキル（プログラム）の開発
 - ・ 野外活動の重視（外で過ごす、自然の中で生活する）

ウ 特別支援について

＜リサ・スクルド 開発マネージャー 説明要旨＞

- スウェーデンの子ども園では、障害や困難なことがあっても、すべて（その子どもたちの状況に応じて）学ぶ権利が保障されている。
すべての子ども園において、可能な限り子どもたちが成長できるようにしていくことが求められている。
また、特別な支援が必要な子どもに対して、それに適した環境を整えていくことは園長の務めであるとされている。
- そのため、子ども園をすべての子どもたちが利用しやすい環境にして、インクルーシブな教育を可能にしていくこととしている。
また、さらに特別な支援を必要とする子どもたち（重複障害や医療的なケアが必要な子どもなど）に対する教育を行う場合は、園長は特別に予算を申請して十分な対応を講じることができるようにしている。
- 特別な支援を必要とする子どもへの対応について、イエーテボリ市では4つの地域において、それぞれサポートチームを設けている。
サポートチームでは、子ども園の園長が、特別な支援が必要な子どもたちへの教育を円滑に行えるよう支援するとともに、園の教員が行う教育活動に対するアドバイスや支援を行っている。
サポートチームは、特別支援に関する専門教育を受けた専門教員、臨床心理士、言語聴覚士などの専門職で構成し、園長は必要に応じてこのチームから専門職のサポートを受けられる。
- その他に、イエーテボリ市には、障害の種別に応じて特別な支援教育を行う「特別支援子ども園」が公立で5園、私立で1園ある。

エ 家族へのアプローチ

＜マリン・オムランド 開発マネージャー 説明要旨＞

- イェーテボリ市では、子どもと同時にその家族もサポートしている。
- 地域において、子ども園、オープン子ども園、学校、社会福祉事務所、健診センター（保健所）などが、それぞれ連携・協力しながら、子どもの成長の各段階の早い時期から家族を支援・アプローチしていくことができるようにしている。
- 子どもの成長を促すための科学的な根拠に基づく取組として、2015年から早い時期から読み書き（言語能力）の発達を促すことを行っている。
具体的には、親が子どもに早い段階から読み聞かせすることを推奨している。
親が本を読んでくれる子どもは、17年間で5万語を覚えて語彙が増え、そうしない子は1万5千語で終わってしまうと言われている。
語彙が増えれば、想像力も高まるし、いろいろな能力が高められる。
スウェーデンでは、10人のうち4人は子どもに本を読んで言葉の刺激を与えていると言われている。

＜ニーナ・エークセン 開発マネージャー 説明要旨＞

- イェーテボリ市では、経済的に恵まれない地域に住んでいる家庭を中心に、生まれてから15カ月までの間に6回、家庭訪問を実施している。
早期に親に接触していくことで、子どもの健康の悪化を防ぐとともに、親に社会との接触を促し、オープン子ども園への通園から子ども園への入園に繋げていくことを目指している。
- こうした早期アプローチは、子どもの非行化を防ぐということも科学的に証明されている。

- 教育法が改正され、2023年の7月から、スウェーデンのすべての市において、子どもたちの家庭を訪問し、支援を必要とする子どもや家庭を掘り起こすことになった。また、併せて、3～5歳のすべての子どもは週15時間まで無償で子ども園に行けるようになったことを親に知らせ、こども園への通園を促すことも家庭訪問の重要な目的になった。

<質疑応答>

質問 日本では、子ども同士のいじめが課題になっているが、それに対してスウェーデンでは、どのような対応を行っているのか。

答 スウェーデンでも、この問題は解決していない。

子ども園の時から、何か気づいたら早い時期に対処することや、人の基本的価値（人権）に気づかせていく取組を行っているところである。子ども園での活動で、人それぞれに考え方が違うことや、自分の考えを相手に伝えて話し合っ解決すること、相手を尊重することなどを学ぶようにしている。

また、子ども園には、いじめや人格障害などに対応するためのチームがある。

質問 多動など発達障害の子どもに対して、どのようなケアをしているのか。

また、指導者の理解促進に係る取組はどのようにしているのか。

答 多動児に対する対応はとても難しく、親や場合によっては医療機関も巻き込んで行う必要があり、これら関係者が連携・協力して取り組むようにしている。

また、職員に対しては個別に現場指導を行っており、セラピーを受けさせたり専門教員や医療関係者からのアドバイスなど、職員自身のサポートも行っている。現場指導では、例えば、グループ分けでどの子と組んだら良いかなど、具体的な指導を行っている。

質問 イェーテボリの子ども園の間で、サービスの違いなどにより人気に違いが生じることはないのか。

また、ヴェストラジョータランド県の中で、市や子ども園の間でサービスが異なり、そのために他の地域に移住するというようなことはないのか。

答 子ども園や学校の教育内容（サービス）の違いから移住するというようなことはない。どこの子ども園又は学校においても、同じような教育が受けられるからである。

残念ながらイェーテボリ市内においても経済的に厳しい家族が集まっている地域があるが、そうした地域においても教育の内容は同じである。

質問 イェーテボリ市にある350の子ども園同士で、職員の取り合いをするというようないことはないのか。

答 人気のある地域にある子ども園での勤務を希望する職員が集中するということはあり、課題になっている。

人気のない地域の子どもの園の魅力を上げ、勤務時間を短くするなどの対応をしている。

【参考情報】

＜スウェーデンの就学前教育について＞

- 1975年に幼保一元化を実現。
1985年には親の就労の有無にかかわらず、就学前の保育を保障すべきとの法案を可決し、待機児童問題を克服。
1996年には保育事業を社会福祉省から教育省に移管し、förskola（就学前教育）として子どもの育つ権利、教育を受ける権利を保障した。
- 6歳児は1年間、基礎学校（小学校）の中にある就学前クラスに通い、多くは、就学前クラスの前後に基礎学校内にある学童保育を利用している。
- 保育料は、週15時間（年間525時間）は無償で、余剰分は親の収入に応じて変動するものの、実際には児童手当でほぼ賄える程度。

＜スウェーデンの教育制度について＞

- 6歳のプレスクールから始まり、基礎学校9年、高校3年、大学3年で、義務教育は、プレスクール、基礎学校の10年間で、全て入学金や学費が無料。さらに基礎学校在学中は給食費、教科書代や学用品代も基本的に無料。
- 奨学金制度など学生を支援する制度も充実していて、高校卒業後に数年間働いた後、大学で学ぶ学生も少なくない。

＜子育て施策について＞

- 子どもが8歳までは労働時間を最大25%まで短縮できるという制度があり、1日6時間（週30時間）が一つの目安になっている。
- 子どもが8歳までに1年10か月の育児休暇が取得でき、このうち390日間は給与の80%が、残りの90日間は1日約2000円が支給される。父親の育児休暇は90日間取得が可能で、90%以上の父親が取得している。
- 子どもが12歳になるまでは、一人の子どもにつき最長で年間120日間の看護休暇の取得が可能であり、給与の80%が支給される。
- 保育園をプレスクールにしたことにより、保育士のステータスが押し上げられ、保育士の給与も25～32万円と、一般的な職業の水準に引き上げられた。

(8) オーログスヴァーゲン子ども園視察



※ 園児の顔撮影は不可のため
教育・保育状況の写真なし



(8) オーログスヴァーゲン子ども園視察

<視察先情報>

- 大きな庭のある美しい建物の中にあり、すぐ近くに海と森がある。
- レッジョエミリアの教育哲学^{*}の影響を受け、前向きな精神と未来への信念が特徴。
 - ※ レッジョエミリアの教育哲学
 - ・ イタリア発祥の「子ども主体」でおこなわれる教育方法。
 - ・ 子どもの無限の可能性を信じ、能力を最大限に引き出すアプローチが基本。
 - ・ 活動を通して、社会性や交渉力を身につける。

日 時 令和5年11月8日(水) 10時30分～11時30分
場 所 オーログスヴァーゲン子ども園
説明者 オーログスヴァーゲン子ども園
企画運営担当 シャーロット・ガイガー
園 長 カタリーナ・セリン

<シャーロット・ガイガー 企画運営担当 説明要旨>

→ 説明資料6 (P156) 参照

- オーログスヴァーゲン子ども園は2016年に開園した公立の子ども園である。
- この土地は、1600年代は海軍の所有地で、19世紀には監獄であった。
その後、1946年に国立専修学校として現在の建物が造られたが、1985年に民間に払い下げられた。
その建物を大幅に改修して、現在の子ども園となったものである。
公立の子ども園であるが、敷地は民地を借りている。
- 子ども園では、年齢により、4つのクラス(セクション)に分けている。
 - ・ 「スプラウト(苗)」は、1歳から2歳児のクラスで15人の子どもがいる。教員2人と保育士2人で対応している。
 - 音に興味を持ち、いろいろな音を体験するプロジェクトに取り組む
 - ・ 「ディスカバリー(発見)」は、2歳から3歳児クラスで18人の子どもがいる。教員2人と保育士2人で対応している。
 - 水面の下に何があるのか、見えないものに興味を持つプロジェクトに取り組む
 - ・ 「チャレンジ(挑戦)」は、3歳から4歳児のクラスで21人の子どもがいる。教員2人と保育士1人で対応している。
 - 自然(生き物や植物)に興味を持ち学ぶプロジェクトに取り組む
 - ・ 「フューチャー(未来)」は、4歳から5歳児のクラスで24人の子どもがいる。教員2人と保育士2人で対応している。
 - 自然に興味を持ち、自然から何が生み出されているのか、何が自然を育てるのかを学ぶプロジェクトに取り組む
- スウェーデンの子ども園では、通常、1クラス3人の職員で対応するが、4人対応のクラスは特別な支援が必要な子どもがいるため加配されている。
- クラスの担当職員は、担当するクラスの子どもと一緒に上のクラスに持ち上がる。(4年間同じ職員が担当になる。)

- この子ども園では、北イタリアから生まれた「レッジョ・エミリア（エミリア・フィロソフィー）」に基づいた教育を行っている。
- 国が定めた教育法とレッジョ・エミリアとの関係であるが、教育法は「なにをするか」ということを定めているが、レッジョ・エミリアは「どうやって（どのように）するか」ということに力を入れている。
具体的には、遊びを通じて学んでいくことを大切にしており、遊びの中で民主主義や環境について学ぶことに力を入れている。
- 子どもたちの前に教員が立って知識を教えるのではなく、子どもたちに興味があることを実際に試していくこと（プロジェクト）を通して学んでいく。
- この子ども園では、子どもの評価をしない。
子ども園全体として、子どもたちにどのくらいのことを教えたのか、どのようにして子どもたちが覚えるようになったのかということの評価する。
- 子ども園の開園時間は、朝 6 時 30 分から 17 時 30 分まで。

6 時 30 分	開園
	※ 登園時間は家庭の事情により異なり、7 時 30 分までは 1 階の広場（ピアザ）で過ごす
7 時 30 分	各クラスの教室に入る
8 時～8 時 40 分	朝食
9 時～11 時	プロジェクト（屋内又は屋外）
11 時～12 時	昼食
12 時～14 時	休憩・お昼寝
14 時 30 分～15 時	おやつの時間
15 時～17 時 30 分	遊び（遊びを通じての学び）
	※ 季節や天候に関わらず外に出て遊んだりお昼寝していることが多い
17 時	閉園
- スウェーデンでは、子ども園でも学校でも先生のことを名前と呼ぶ（「先生」と呼ばない）。
- 我々が考える良い先生は、ある事象や体験から様々な学びを引き出ししていくことができる先生である。

<記念品交換>

- 終了後、加藤元弥議長からオーログスヴァーゲン子ども園の園長に対し記念品（寄木細工のマウスパッド）を贈呈し、園長からはガラス製のオブジェなどが贈呈された。

(9) ヴェストラジョータランド県議会議長表敬・昼食会



(9) ヴェストラジョータランド県議会議長表敬・昼食会

日 時	令和5年11月8日(水) 12時~13時
場 所	ヴェストラジョータランド県議会 食堂
応対者	ヴェストラジョータランド県議会 議 長 レネ・ベンクトソン (Renée Bengtsson) 事務局長 アントン・シザー (Anton Cesar)

<レネ・ベンクトソン ヴェストラジョータランド県議会議長 あいさつ要旨>

- 神奈川県議会の加藤議長をはじめ議員の皆様、ヴェストラジョータランド県議会によろこお越しくございました。
- ヴェストラジョータランド県議会には149名の議員がいて、8つの政党がある。現状では三つのマイノリティーの政党の連携政権となっています。
- 我々が担っている分野で一番大きなものは、保健医療である。県議会予算の80%は保健医療関係予算である。また、文化活動も担っている。イエーテボリには大きなオペラハウスがあり、交響楽団も持っている。そして、公共交通網やヴェストラジョータランド県の発展に関する活動も行っている。
- 県議会関係の職員は約55,000人いて、非常に大きな組織となっている。
- 本日は昼食を楽しみながら、皆さんといろいろな意見交換をさせていただきたい。

<加藤元弥議長 あいさつ要旨>

- レネ・ベンクトソン議長はじめ皆様方には、両県の友好交流の推進にお力添えをいただいております。改めて厚くお礼申し上げます。
- 神奈川県とヴェストラジョータランド県は、貿易港を抱え、自動車産業が盛んなことなど、それぞれの国内における立ち位置が大変似ており、先人はそうした点に着目して友好交流先としてマッチングさせたのかとも思っております。
- 本県は、人口の高齢化傾向が顕著な中にあり、保健福祉の取組をはじめ様々な実践について、今回の友好交流の中で学ばせていただきたいと思いますと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。
- 皆様方の温かい歓迎に改めて感謝申し上げますとともに、ヴェストラジョータランド県のますますのご発展と日本、スウェーデン両国の友好の一層の進展を祈念し、私のあいさつとします。

<記念品の交換>

- 最後に、加藤元弥議長からレネ・ベンクトソン議長に対し、記念品として本県特産の寄木細工(木象嵌:桜富士)を贈呈し、レネ・ベンクトソン議長から、エーケルンドのタペストリーが贈呈された。

(10) ヴェストラジョータランド県議会プレゼンテーション
ヴェストラジョータランド県のヘルスケア改革について



(10) ヴェストラジョータランド県議会プレゼンテーション

ヴェストラジョータランド県のヘルスケア改革について

日 時	令和5年11月8日（水）13時～14時
場 所	ヴェストラジョータランド県議会 食堂
説明者	ヴェストラジョータランド県議会 地域研究開発課長 アン・エクベルグ・ジャンソン（Ann Ekberg Jansson）
同席者	ヴェストラジョータランド県議会議長 議 長 レネ・ベングトソン 事務局長 アントン・シザー（Anton Cesar）

<アン・エクベルグ・ジャンソン 県議会 地域研究開発課長 説明要旨>

→ 説明資料7（P168）参照

（ヘルスケア（保健医療）について）

- ヴェストラジョータランド県議会が担う保健医療事業においては、県内の病院などを中心として5つのグループがある。
 - ① イェーテボリ大学医学部の総合病院
この大学総合病院は、スカンジナビア地域の多くの病院の中でも非常に大きな病院の一つである。
 - ② プライマリーケア（初期医療）
各地の診療所やリハビリ施設を含めて、プライマリーケア（初期医療）と呼んでいる。
クリニックが約200、その他にリハビリ施設が約60、全部で300程度になる。その約半分が公共で、残り半分が民間で行われている。
民間のプライマリーケア施設も、県との間で契約が成立している。
 - ③ 歯科医療。
 - ④ 学校の保健室（市が実施）
 - ⑤ 訪問看護・医療（市が実施）
訪問医療など、家庭に看護師、医師が出掛けていくもの。
- これらの保健医療に関する県議会の2023年の予算は約502億クローナであり、その大部分は医療費に充てられる。
この予算で、約5万人いる保健医療従事者を賄っている。
- 日本と同様に、スウェーデンにおいても高齢化という非常に大きな課題を抱えている。
10年以内に80歳以上の人口が50%近く増える。
スウェーデンの保健医療は税金で賄われるが、働いて税金を払ってくれる労働年齢の人口は5%しか増えない。この5%の人たちが、今後50%増える80歳以上の人たちを支えることになる。
- 医療が直面している課題の一つに、児童や青少年に鬱（うつ）や不登校などの精神疾患が増加していることが挙げられる。
- 医療は進歩しており、様々な最新の検査や治療を受けられるが、それらには費用も掛かり、医療コストの増大という問題も生じている。
仕事をして税金を払う労働年齢に当てはまる人は少ないので、労働力の減少と合わせて、技術を持った優秀な医療従事者も不足している。
- 一方で、県民は利用しやすく、しかも質の高い保健医療を希望している。
最新の治療方法や薬を使ってもらいたく、最新のデジタル医療を受けられることを願っている。

- 今後増えていく後期高齢者の人たちが希望するのは、安心して継続的な保健医療を、身近なところで、いろいろな診療やケアをまとめて受けられるようにして欲しいということである。
- これらの課題を踏まえ、今の保健医療をどう変革し、必要とする医療を皆に受けてもらうにはどうしたら良いか、2028年に向けたヴェストラジョータランド県の保健医療の将来ビジョンを作った。
- この将来ビジョンで重視したことは、次の点である。
 - ・ 保健医療の利便性、参画性（自分の意見が反映できること）、安全・安心
 - ・ 個別・一貫性（個別に一貫して適応される保健医療）
 - ・ 予防医療（病気にならないための健康管理）
 - ・ デジタルの活用
- ビジョンの実現に向けた医療改革戦略として5つの項目を挙げている。
 - ・ 身近に保健医療が受けられること
 - ・ 保健医療を行う上での優先順位を決めること（取捨選択）
 - ・ 保健医療の品質重視
（初期段階から適切な医療を提供する、また、そのために優秀な人材を確保・育成すること）
 - ・ デジタル化（保健医療人材の絶対的な不足を補う）
 - ・ 子どもたちにも平等に適切な保健医療を受けさせること
- すでに医療に関するアプリケーションを利用し、
 - ・ 個々の保健医療ケアについて、デジタルカメラ等を使ってWeb診察やWebミーティングを行い、その結果、必要であれば直接診察する
 - ・ 自分で血圧などのデータを入力し、そのデータを医師と共有する
 - ・ 音声入力を導入し、医師がカルテに記入することや看護師の看護日誌を音声で入力・文書化し、いつでも患者と共有できるようにする
 ということを進めようとしている。
- デジタル化を進めようとした当初は否定的な意見も多かったが、コロナのパンデミックを経験して皆の見方が変わった。

（ライフサイエンスについて）

- スウェーデンでは、医者が忙しすぎて研究などを行う時間がないとよく言われるが、ヴェストラジョータランド県ではインフラが整備されていて、職員が仕事をしやすいようサポートできるようになっている。
- 県内にある、「ヴァンベルクセンター」では、分子レベルで薬を細胞から細胞の間へ移して治療する分子医学が進んでいる。
そのほか、始まったばかりであるが、産学共同で研究開発していく取組も出ている。
- また、イエーテボリの南にある「アストラゼネカ」という製薬会社の存在も大きい。
- ヴェストラジョータランド県には、こうしたライフサイエンス（生命科学）に関わる学生が約5万人いて、研究者も約5千人いる。
また、約500社の有名な企業関わっている。
さらには、スウェーデン人だけではなく、有名な研究者のリーダーたちもいる。
- このように、ヴェストラジョータランド県はライフサイエンスを進める上での学術・研究施設、企業、人材などの環境が整っている。
- サールグレンスカ大学総合病院があり、国際的にも有名なチャルマース工科大

学があり、産学共同していく土台が揃っている。

しかしながら、研究の成果を知らせ、活用することができていない。研究成果を自分たちで持っているという状態である。

そこで、サーलगレンスカ大学総合病院の横にある医学部と共同で、研究所を造ることになり、工事に着手している。

この新たな研究所では、簡単に利用でき、今よりもっと早くケアが受けられるような研究をし、実際に使えるものになりたいと考えている。

第1号館ができれば、最新の技術を使って、良い治療の結果を出せるようにしたい。

- また、ゴコヘルスイノベーションシティがアストラゼネカのすぐ横にできる。ヘルスイノベーションシティに世界中の優秀な企業や研究者たちを集め、保健医療や生命科学の最先端の地にしていきたい。

<意見交換>

神奈川県議会

- 神奈川県にもライフイノベーションパークとライフサイエンスパークがある。ヴェストラジョータランド県のように大きな企業集積はできていないが、産学公の連携は進んでいて、新たな特許が生まれたり、ロボットサイエンスなどで医療の人材不足をフォローしようという動きもある。
再生細胞医療やゲノム医療、未病の概念のもとに高齢者支援などの研究・実証も行われている。

ヴェストラジョータランド県議会

- ゲノムには非常に興味があり、ここに力を入れることで、有望な研究者たちがイェーテボリに行こうという気にさせることにもなると考えている。

神奈川県議会

- ヴェストラジョータランド県と神奈川は連携すると良いのではないか。

ヴェストラジョータランド県議会

- すごく、わくわくし、刺激的な話だ。

神奈川県議会

- 日本では新薬の認定に時間がかかるという課題がある。

ヴェストラジョータランド県議会

- スウェーデンでも時間をお金がかかるのは同じ状況である。